

現代中国における農民出稼ぎと社会構造変動に関する研究



農民出稼ぎ者・留守家族・帰郷者の生活と社会意識に関する実態調査をふまえて

中国の農民出稼ぎ労働の社会的意義を、出稼ぎ農民・留守家族・帰郷者への徹底した実態調査で解き明かす。「華人学術賞」受賞作！

内容紹介

めざましい経済発展に伴い、各地で都市化が進む中国。出稼ぎ農民人口が急速に増え、その就職や福祉・教育・医療などの面が社会問題化している。

本書は、北京の出稼ぎ農民本人と、山東省鄆城（うんじょう）県の留守家族、そして帰郷者を対象として、徹底したインテンシブ（集中的）な実態調査や対象者が確保できる「機縁法」という方法などにより、農民出稼ぎ労働の社会的意義について実証的に調査研究。

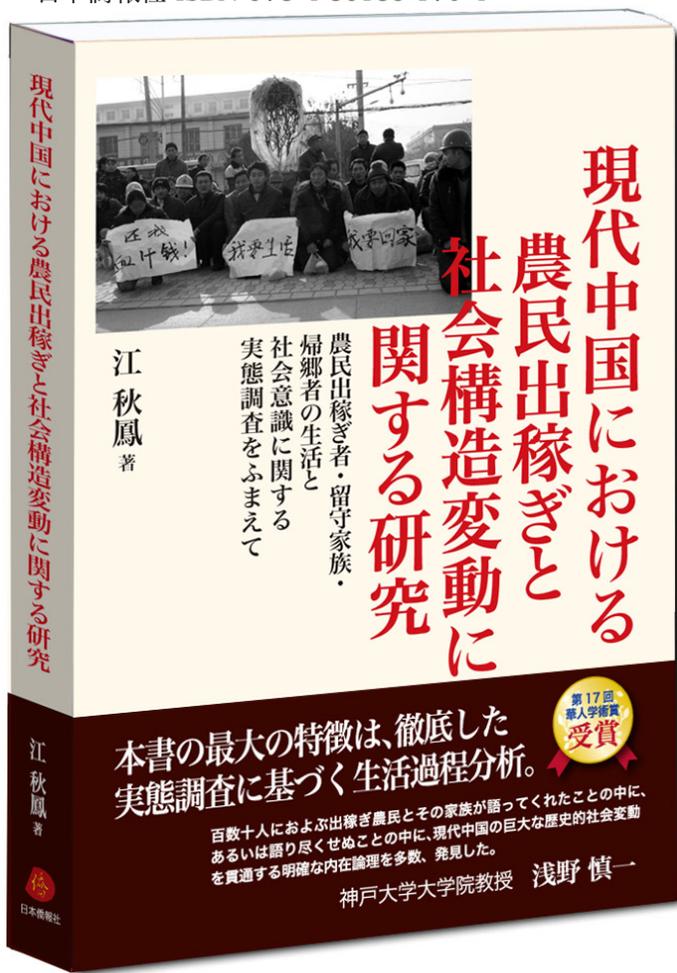
「中国の社会構造そのものの矛盾を認識」しながらも、「自らと次世代の生活の向上・発展をたゆまず求め続け」という、出稼ぎ農民たちの前向きな意識を明らかにした。

農村社会の変貌、都市化の変動、階層格差の拡大、家族関係と社会関係の変容など、出稼ぎ農民をめぐる社会構造の全体的変動を、トータルに解き明かした意欲作。

中国人博士の優れた研究成果を讃える「華人学術賞」受賞！
 神戸大学大学院 浅野慎一教授が推薦！

「本書は、百数十人におよぶ出稼ぎ農民とその家族が語ってくれたことの中に、あるいは語り尽くせぬことの中に、現代中国の巨大な歴史的な社会変動を貫通する明確な内在論理を多数、発見した」

江秋鳳 著
日本僑報社 ISBN 978-4-86185-170-4



【著者略歴】江秋鳳（コウ シュウホウ）
 1980年、中国山東省鄆城県生まれ。2001年、魯東大学日本語学科卒業。山東省龍口第三中学校徐福日中交流学校で日本語教師として勤めたのち、2003年4月より日本に留学。2005年3月、大阪産業大学経済学部卒業。2012年3月、神戸大学大学院人間発達環境学研究科で博士号（学術）取得。
 現在は、中国社会科学院「都市発展と環境研究所」にポストドクターとして勤めている。

ご注文は、日本僑報社 e-shop (中国研究書店) をご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トーハン 日販 その他 取次コード：5752)

 おかげさまで20周年 since 1996	現代中国における農民出稼ぎと社会構造変動に関する研究 ISBN 978-4-86185-170-4 発行日：2015年7月17日 A5判 220頁 上製 定価：本体 6800円 + 税	注文部数 部 (送料無料)	ご注文 / 番線印 ご注文の方は、注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください
	日本僑報社 e-shop http://duan.jp	送信 FAX 03-5956-2809	